



技術研修事業

教育研修コースのご案内

一般財団法人 VCCI協会

<http://www.vcci.jp/>

連絡先: 〒106-0041 東京都港区麻布台2丁目3番5号 ノアビル7階

TEL(03)5575-3138 FAX(03)5575-3137

担当: 島先/村松

shimasaki@vcci.jp

研修コースの概要



レベル	研修コース	その他
上級	アンテナ校正・NSA	
中級	測定技術者研修会 (電源/通信ポート(注)、1GHz以下放射妨害波) 1GHz超放射妨害波 自動／手動測定の利用	運用研修 セミナー
初級	測定技術者研修会基礎コース	

NSA: Normalized Site Attenuation

- 目的
- VCCI技術基準に基づいた電磁波測定を行うにあたって、その測定に必須の電磁気的な基礎知識及び、測定結果から問題点を推定するにあたって必要と考えられる電磁気等の基礎知識の習得
 - 専門知識や高度な測定技術を習得可能なVCCI測定技術者研修コースへ進むために必要な知識の習得
- 研修内容
- 第1章 電磁妨害の背景と電磁環境
 - 第2章 電気回路の基礎
 - 第3章 伝送線路の基礎
 - 第4章 電磁波について
 - 第5章 妨害波測定器の基礎
- 日程
- 座学のみ 1日 年2回(春、秋)開催
- 場所
- VCCI事務局の会議室 (東京都港区麻布台)

- 目的
- ITE (情報技術装置) の適合確認試験を実施する際に必要となる測定技術及び、EMCに関する知識の習得
 - 自社の測定設備登録・維持管理に関するVCCI技術基準に基づく必要事項の習得
- 研修内容
- 第1章 電磁妨害の背景と電磁環境
 - 第2章 電磁波の性質とアンテナ・EMI測定用アンテナ
 - 第3章 スペクトラム・アナライザ
 - 第4章 妨害波測定器
 - 第5章 サイトアッテネーションについて
 - 第6章 EMI測定法
- 各試験サイトにおいて実習
実機を用いた、放射妨害波の測定実習
実機を用いた、伝導妨害波の測定実習
- 日程
- 座学及び実習 合計4日間 年2回(春、秋)開催
- 場所
- VCCI事務局の会議室 (東京都港区麻布台)
及び、JQA(都留、彩都)、TELEC(品川)、KEC(けいはんな)

1GHz超放射妨害波測定コース



- 目的
- ITEの動作周波数高周波化に対応した、正しい1GHz超放射妨害波が測定できるための技術及び関連知識の習得
 - 正しい1GHz超放射妨害波測定場の評価が出来るための技術の習得

- 研修内容
- 第1日目 午前 サイト評価方法(SVSWR)の座学
午後 サイト評価方法(SVSWR)の実習
- 第2日目 午前 1GHz超測定方法の座学
午後 1GHz超測定方法の実習

日程 座学及び実習 合計2日間 年2回(春、秋)開催

場所 JQA(都留)、TELEC(品川)、KEC(けいはんな)

アンテナ校正・NSA測定コース



- 目的
- 自社において正しいアンテナ校正が出来るための技術及び、関連知識の習得
 - 正しい正規化サイトアッテネーション(NSA)測定が出来るための技術及び、関連知識の習得
- 研修内容
- 第1日目 午前 アンテナ校正方法の座学
午後 アンテナ校正方法の実習
- 第2日目 午前 NSA測定方法の座学
午後 NSA測定方法の実習
- 日程
- 座学及び実習 合計2日間 年1回(秋)開催
- 場所
- JQA(都留)、TELEC(松戸)、KEC(けいはんな)

自動／手動測定の実用コース



- 目的 ■ 妨害波測定において正しい測定が出来るための自動測定及び手動測定の設定方法や測定器の取扱等の必要な技術の習得
- 研修内容 妨害波の測定手順(CISPR 16シリーズ)を参照して、予備測定と最終測定の手順及び、一般的な測定手順(自動測定及び手動測定の手順)を理解し、妨害波の種類において、最大妨害波の測定が出来るようになるための測定プロセスを習得する。
- 日程 座学のみ 1日 年1回開催
- 場所 VCCI事務局の会議室 (東京都港区麻布台)

- 目的 ■ 適合確認届出をするために必要な試験項目の選定、試験成績書の書き方及び、適合確認届出の方法について理解・習得。さらに、市場抜取試験に関する理解と適合確認届出における注意点の習得及び、設備登録のWEB化に伴う周知教育を行う。
- 研修内容
- 1) VCCI運用規程と適合確認届出の方法
 - 2) 試験報告書の書き方
 - 3) 市場抜取試験に関する説明と注意点
- 尚、研修内容は変更の可能性あり
- 日程 座学のみ 半日 年1回(夏)開催
- 場所 VCCI事務局の会議室 (東京都港区麻布台)